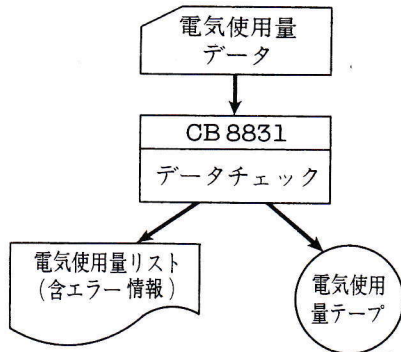


## 2.3.1 (例題) 電気使用量データのデータチェック

## 【プログラム概要】

カードにパンチされた電気使用量データのデータチェックを行い、電気使用量テープと電気使用量リストを作成する。

## &lt;プロセスチャート&gt;



## &lt;処理条件&gt;

1. 下記のデータチェックを行う。

- 顧客番号は 10001 ～ 79999 の範囲である。(数字, 範囲)
- 契約アンペアは 15, 20, 25, 30, 40, 50 である。(対応)
- 前月および当月の指示数の関係は次のとおりである。(数字, 大小)

前月指示数 ≤ 当月指示数

- 区分コードは A: 新規, C: 継続, D: 解約の 3 種類である。(対応)
- エンドマークは星印 (\*) である。(桁ずれ)

- 正しいデータのみ電気使用量テープに出力する。
- 電気使用量リストは一連番号と入力データイメージを印字する。なお、エラーデータの行には “-\*-” を付加する。
- データは 2 行改行で印字し、1 ページに 20 行印字する。

## &lt;電気使用量データ形式&gt;

RL=80 内部ファイル名: INP

顧客番号	契約 アンペア	前月指示数	当月指示数	区分 コード	エンド マーク	
X (5)	X (2)	X (4)	X (4)	X	X	X (63)

## &lt;電気使用量テープ形式&gt;

RL=16 内部ファイル名: OUT

顧客番号	契約 アンペア	前月指示数	当月指示数	区分 コード
X (5)	X (2)	X (4)	X (4)	X

## &lt;電気使用量リスト形式&gt;

内部ファイル名: SPR

*** 電気使用量リスト ***			
NO	エラーフラグ	** 電気使用量イメージ **	
1		105232546394705C*	
2	-*-	2574915A7353027C *	
3		529574082948324A*	
⋮	⋮	⋮	
⋮	⋮	⋮	



